

福島県男女共生センター図書室だより

第 93 号
2025. 6. 20

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

いろんなかたち！

— かたちに捉われないで —



分類番号 6108 イ

「パパはステキな男のおばさん」

石井睦美/文 あおきひろえ/絵 BL出版

主人公のまりの家庭は専業主夫のお父さんと会社で働いているお母さんとまりの 3 人家族です。まりの友達の家族と違うのはお父さんが家にいて料理・洗濯をしてくれること、お母さんは働いて、まりの友達からはおかしいと笑われたりします。

今ではこのような家族は当たり前ですが、少し前まではおかしいと思われていたのでしょう。お父さんは会社で仕事、お母さんは家で料理・洗濯をするのが当たり前という「思い込み」があったのだと思います。まりの学校の授業で「お父さんとお母さん、どっちが家にいてほしいか」で、クラスの子どもたちが話しあいをしました。が、結論は出なかったようです。

「当たり前」「思い込み」は溢れている気がします。正しい答えはないかもしれないですね。自分の「当たり前」についてちょっと考えてみるのも良いですね。(T.Y.)



分類番号 S 6102 ウ

「小さな神たちの祭り」

内館牧子/著 潮出版社

著者は、東日本大震災から 7 年の初夏、仙台の東北放送「60 周年記念ドラマ」の脚本執筆を依頼されます。東日本大震災で「亡くなった人はどこかで生きている」というドラマ、生者と死者の交歓を作りあげて放送されました。今度は、ドラマを見た出版社から依頼されて小説になりました。

私は、残念ながら放映されたドラマは見る事が出来ませんでした。しかし、小説となった著書の読後感に浸れることを幸せに感じています。小説の場面に登場する宮城県の実地には学友の生活があり、大津波で地域社会が無くなりました。その後、暫くは海辺を見ることが出来ませんでした。

岩手県陸前高田市の「漂流ポスト」の存在を知り、心が安らぐ思いに駆られます。現在、東日本大震災東京電力福島原発事故から 14 年の福島県に生活しています。大切な一冊になりました。(S.S.)

分類番号 6108 ヨ

「おしごとそうだんセンター」

ヨシタケシンスケ/著 集英社

著者のヨシタケシンスケさんは、独特なイラストで絵本の世界に不思議な魅力を繰り広げています。ほのぼのとした登場人物は、「何処かでお会いしたことがあるような?」「そうそう。あるある!」と絵本のページを進めていくと最後のページへきてしまいます。

「おしごと」に着目しているので、4 月から社会人としてお仕事を始めた方から定年退職を迎えた方、これから町探検しながらお仕事をを見つける方々にピッタリの絵本です。

始まりは、宇宙船が落ちて地球にやって来た宇宙人が「おしごとって、何?」と、そうだんセンターを訪ねて来たところから。「めずらしいおしごと」を 001~044 まで、そうだんセンターの受付の方が楽しそうに情報を伝えてくれます。おしごとをどの様に理解して行動していくのかなど、つつい宇宙人を応援したくなります。



分類番号 6108 エ

「ことばとふたり」

ジョン・エガード/文 きたむらさとし/絵・訳 岩波書店

ことばを知らないいきものがのんびり気ままに暮らしていました。「たのしい」とか「おいしい」は言葉ではなく身体を使って表現していました。ある日「くるしくて、つらいとき」それを見ていたことばを知っているいきものが、「ハグハグ」と言って近づき二人は抱き合い出会いました。それから二人は、沢山の言葉を覚え心を通じ合いなかよく暮らし始めたという絵本です。

ことばを知らないいきもの・赤ちゃん・外国人・障害者・ペットあなたは誰を何を思い起こすでしょうか?言葉を使って誰かとわかり合える大切さ、言葉がなくても寄り添える温かさや大切に思いやる気持ちがあれば幸せに暮らせる。言葉のコミュニケーションは大事です。でもこの絵本はいろいろな考えを広げていってくれそうな 1 冊でした。(K.M.)

分類番号 3206 イ

「男が育休を取ってわかったこと」

池田大志/著 セブン&アイ出版

本書は、皮膚科医である著者が育休を取っての 6 ヶ月間の体験記です。

前半は育休や子育てについて、後半は皮膚科医である著者ならではの、乳幼児の肌のケアについて詳しく書かれてありました。

今でも男性が育休を取ることはまだまだ難しく、あの大谷選手が父親リストで 3 日休むというだけで大ニュースになる時代です。育休を取りたくても取れない、が現状なのではないかと思えます。

著者も、上司は心よく応援してくれたが、同僚や担当の患者さんからは引き継ぎによるデメリットを受ける側だから、かなり嫌みを言われたようです。仕事面での申し送りの面倒さ、上司や同僚の理解、社内制度や国の補助制度などを利用して収入への影響などがあると思われます。

職場復帰してからの、職場の様子などが書かれてあれば良かったな〜と、是非続編に期待したいと思います。(K.M.)

分類番号 2202 マ

「マリコ、うまくいくよ」

益田ミリ/著 新潮社

著書の奥付には、1969 年大阪生まれのイラストレーター。漫画、エッセイ、絵本と多ジャンルで活躍していると紹介されています。

その中から、漫画を紹介します。著書の表紙には、三人の女性がそれぞれにトイレのドアに手をかけて入ろうとするイラストが描かれています。そして、中表紙は同じ三人の女性がトイレのドアを開けて出てこようとするイラストです。登場人物の社会人 12 年目、社会人 20 年目、社会人 2 年目のマリコたちが考える「がんばれば、むくわれるのかな、働くってなんなんだろう」というメッセージで始まります。どんな展開になるのでしょうか?マリコたちにとって働く場所でのトイレは、自分だけのプライベートな個室です。ほっと息抜きできる場所で、自分自身にエールを送れる場所、仕切り直しが出来る場所なのではないでしょうか?どうぞ手に取ってご覧ください。(S.S.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	データから読む都道府県別ジェンダー・ギャップ あなたのまちの男女平等度は？	共同通信社会部ジェンダー取材班/編	岩波書店	1301 キ
2	みんなの研究 女の子でも総理大臣になれる？ 国会への道	辻元清美	偕成社	1401 ツ
3	きみのお金は誰のため ポスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」	田内学	東洋経済新報社	2105 タ
4	町内会 コミュニティからみる日本近代	玉野和志	筑摩書房	2106 タ
5	精神科医はへき地医療で“使いもの”になるのか？私の転職奮闘記	香山リカ	星和書店	2205 カ
6	いばらの道の男の子たちへ ジェンダーレス時代の男の子育児論	太田啓子 田中俊之	光文社	3206 オ
7	図解でわかる日常生活動作事典 家庭内事故死を防ぐ	湯浅景元	徳間書店	4102 ユ
8	フツウと違う少数派のキミへ ニューロダイバーシティのすすめ	鈴木慶太	合同出版	4103 ス
9	トランスジェンダーQ&A 素朴な疑問が浮かんだら	高井ゆと里 周司あきら	青弓社	5201 タ
10	おじさんは傘をさせない	坂井希久子	PHP 研究所	6102 サ

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記

昨年の冬は雪が多い年でした。窓から見える安達太良山も残雪が白く輝いていました。若葉も日々緑が深まり自然界の変化を楽しんでいます。

今月のテーマは「いろんな私たち！」。かたちに捉われないです。

かたちに捉われない生き方を本を手にとり考えてみました。

発行者：公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書室だより作成グループ

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)